

2007年6月28日

< 報道各位 >

国立西洋美術館
ユーシーカード株式会社

独立行政法人及び全国での美術館・博物館で初、観覧料を「Suica」で支払い可能に！ 「国立西洋美術館」で Suica 電子マネーサービス開始

国立西洋美術館（所在地：東京都台東区、館長：青柳正規）とユーシーカード株式会社（以下：UCカード、本社：東京都港区、代表取締役社長：井上誠一郎）は、東日本旅客鉄道株式会社（以下：JR東日本）が提供する Suica 電子マネーサービスを国立西洋美術館の施設へ導入することに合意いたしました。2007年7月3日より利用可能となります。

独立行政法人及び美術館・博物館でのSuica電子マネーサービス導入は、「国立西洋美術館」が初めてです。

本サービスでは、お客様が国立西洋美術館の観覧チケットを購入する際、または、国立西洋美術館内の施設（ミュージアムショップ、カフェ「すいれん」）で商品を購入する際に、その代金を Suica 電子マネーで、スピーディにお支払いいただくことが可能となります。

近年、比較的小額な美術館の観覧料については、小銭を出し入れする煩わしさがなくなることから、電子マネーやクレジットカードでの決済を要望する声が高まっておりますが、まだまだ現金の取扱いが多いのが現状です。

国立西洋美術館では、そのような要望にお応えするべく、2006年4月より観覧料及び商品購入代金におけるクレジットカード決済サービスを開始しておりますが、お客様へのサービスをさらに充実させるため、Suica 電子マネーサービスを開始することといたしました。

本サービスの導入により、より一層、入場時の支払い時間、及び商品購入時のレジ待ち時間を短縮し、お客様の利便性を向上できる効果があるほか、現金管理業務を削減できる効果もあります。

現在、国立西洋美術館では、16世紀から17世紀にかけてイタリア北中部の都市パルマで花開いた美術を日本で初めて紹介する「パルマ - イタリア美術、もう一つの都」展（2007年5月29日～8月26日）を開催しており、1日あたり2,000名のお客様を見込んでいます。

UCカードは、これまでビューカード（View - VISA・MasterCard）発行等、クレジットカード業務を中心にJR東日本とともに、多くの機能をお客様に提供してまいりました。

2006年3月には、JR東日本と「Suica加盟店」の開拓に関する業務提携について合意、「Suica加盟店」の募集を開始しており、今回の国立西洋美術館での Suica 電子マネーサービスの開始は、この提携の一環として実現したものです。

1. 開始時期

2007年7月3日

現在、開催中の「パルマ - イタリア美術、もう一つの都」展の観覧料について、7月3日より、Suica電子マネーでのお支払いが可能となります。

2. 国立西洋美術館導入施設

- 国立西洋美術館（観覧券販売窓口）

住 所 〒110-0007 東京都台東区上野公園7番7号

開館時間 午前9:30～17:30（ただし、冬季期間中は9:30～17:00）入館は閉館の30分前まで

休 館 日 毎週月曜日（ただし、月曜日が祝日又は祝日の振替休日となる場合は開館し、翌日の火曜日が休館）
年未年始（12月28日～翌年1月1日）その他、臨時に開館・休館することがあります。

無料観覧日 毎月の第2、第4土曜日、昭和の日、文化の日（ただし、常設展示のみ無料となります）

常設展観覧料 一般420円(210円)、大学生130円(70円)、高校生70円(40円)、

中学生以下、65才以上の方、心身に障害のある方及び付添者は無料

()内は20人以上の団体観覧料金

企画展は別料金となります。

- ミュージアム・ショップ

営業時間：美術館開館時間より閉館時間まで

- カフェ「すいれん」

営業時間：10:00～17:15（食事11:00～16:30 ラストオーダー17:00）

金曜日10:00～19:45（食事11:00～19:00 ラストオーダー19:30）

3. 「パルマ - イタリア美術、もう一つの都」展 概要

世界的にも極めて貴重な機会となる本展は、コレッジョやパルミジャーノといった優れた芸術家が活躍したルネサンス期から、独自の文化がファルネーゼ家の庇護のもと栄えたバロック初期までを視野に入れながら、パルマの芸術文化を広く紹介しようとするものです。コレッジョやパルミジャーノが登場する背景と、その後、コレッジョが到達した「優美」な世界がバロック絵画に与えた影響を、数多くの作品により展覧します。

近代の美術のみならず、19世紀の文学や音楽を含めた芸術全般にわたって多くの芸術家を魅了し続けたパルマ。その魅力を日本で初めて紹介する本展では、絵画、素描、彩飾写本、彫刻などを含め約100点の作品を展示します。

会期：2007年5月29日（火） - 8月26日（日）

休館日：月曜日（ただし、7月16日、8月13日は開館、7月17日（火）は休館）

主催：国立西洋美術館/読売新聞社/パルマ・ピアチェンツァ歴史美術民俗文化財監督局 後援：外務省/文化庁/イタリア大使館/イタリア文化会館 協賛：EPSON 協力：アリタリア航空/日本興亜損保/JR東日本/西洋美術振興財団

観覧料：一般1,400円(1,000円)、大学生1,100円(800円)、高校生700円(400円)、

中学生以下、心身に障害のある方及び付添者は無料

()内は20人以上の団体観覧料金

企画展の観覧券で常設展もご覧になることができます。

4. Suica概要(5月末現在)

- Suica発行枚数：約2,085万枚（うち電子マネー対応 約1,736万枚）
- Suica利用可能店舗数：約18,500店舗
- 月間電子マネー取扱件数：約1,595万件(Suica・PASMO合計)

「Suica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。